

2013年5月1日

オプテックス・エフェー株式会社
事業支援部

**最小検出段差 0.08mm を実現した、
超高精度レーザセンサ FASTUS BGS-HL シリーズ発売。**

オプテックス・エフェー株式会社（本社：京都市下京区、代表取締役社長：小國勇）は2013年5月1日、距離設定型の高精度C-MOSレーザセンサ「FASTUS BGS-HLシリーズ」を発売します。

当製品は、オプテックス・エフェーの新しい製品ブランドである「FASTUS（ファスタス）」の第二弾となります。

「FASTUS BGS-HLシリーズ」は、ハイエンド変位センサと同じ高信頼性エンジン“Tri-Core（トリコア）”を、C-MOSレーザセンサに搭載することで、微小段差判別と安定検出能力を実現しました。これにより0.1mmレベルの薄型電子部品の有無判別や傾き、重なり検出に威力を発揮します。

独自の“Tri-Core”には、1画素を65536分割で認識するデジタル・サブピクセル処理を採用し、最小検出段差0.08mm※を実現しました。またワークの反射率に合わせてシャッター時間を自動で切換える高分解能電子シャッターを搭載。黒色ワークでも光沢ワークでも、常に最適な感度補正を行うことで、色や材質の違いによる誤差を極限まで小さくしています。

また超小型ボディながら、4桁のデジタルパネルを内蔵し、遠くからでも視認性の高い表示を実現しました。

検出距離別に2種類をラインアップし、標準価格は32,000円（税別）です。

今後もオプテックス・エフェーは「FASTUS（ファスタス）」ブランドの製品数を拡大し、産業用センサの新しい価値を提案していきます。

※ BGS-HL05Tにおいて、平均回数512回、応答設定0.02mmの場合

■製品外観



■FASTUS（ファスタス）ブランドについて

「FA センサに新たな価値を足す」という意味を込めて、
「Factory Automation Sensor」の頭文字に、「TUS」（足す=+）



という言葉をつなげた、オプテックス・エフエーの新製品ブランド。

「FASTUS」ブランドが目指す価値として、品質、性能、価格面で「ナンバーワンもしくは
オンリーワン」であることなどを掲げています。

■ラインナップ・価格

検出距離	最小検出段差	レーザクラス(JIS)	型式	標準価格(税別)
20~50mm	0.08mm ※1	Class1	BGS-HL05T	32,000 円
50~250mm	0.8mm ※2	Class2 ※3	BGS-HL25T2	

※1 平均回数 512 回、応答設定 0.02mm の場合 ※2 平均回数 512 回、応答設定 0.2mm の場合

※3 Class1 タイプも製作可能です。

■国内販売数目標（2013年5月～2014年5月）

10,000 台

■主要販売先：

電気・電子部品業界、半導体業界、ゴム・プラスチック業界、自動車部品業界

■会社概要

オプテックス・エフエー株式会社（2012年12月末現在）

商号	: オプテックス・エフエー株式会社
所在地	: 京都市下京区中堂寺粟田町 91 京都リサーチパーク 9号館 4F
設立	: 2002年1月7日
代表取締役	: 小國 勇
資本金	: 5億5,324万円
事業内容	: ファクトリー・オートメーション用光電センサ関連機器、装置の 製造・販売等
売上高	: 44億円（2012年12月決算）
従業員数	: 115名（連結）

【本件に関するお問合せ先】

オプテックス・エフエー株式会社 【JASDAQ : 6661】

事業支援部 石谷 高宏 (E-mail: fa@optex-fa.com)

〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町 91 京都リサーチパーク 9号館

TEL: 075-325-2920 FAX: 075-325-2921

URL: <http://www.optex-fa.jp>